



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和2年 6月号

神奈川県立相模原中央支援学校

梅雨になり、青や水色、紫、ピンク、白…紫陽花が美しい季節となりました。教頭の比留川と申します。着任して2年目、今年度も子どもたちの未来をみなさまと一緒に創っていくことに精一杯取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



学校が再開して2週間が過ぎました。新型コロナウイルス感染症により、今までに経験したことがない状況ですが、わたしたち教職員も感染防止策について試行錯誤を繰り返し、少しずつ新しい生活様式を模索しているところです。分散登校や健康チェック、子どもたちの動線の工夫、手洗いうがい、マスクの着用、相手との距離の確保、消毒の実施…。まだまだ多くのことが必要です。みなさまご理解ご協力くださり、心からお礼申し上げます。

さて、マ・メールと6月の行事予定でお知らせいたしましたが、いよいよ6月22日(月)からは、給食が開始となります。とにかく安全第一、感染予防を重視して知恵を出し合い準備をしています。3密に気を付けるよう工夫して取り組む予定です。なお、4・5月分の給食費は全額返金となります。大変申し訳ありませんが、手続きの関係で年度末になることをご了承いただきますようお願いいたします。

教頭 比留川 はるか

支援連携グループの取組みについて

支援連携グループでは、地域と連携しながらさまざまな活動を行っています。今回は支援連携グループの「3つのチーム」についてご紹介します。本グループは、幼児児童生徒や保護者の皆さんの学校・家庭・地域生活の充実のための相談、関係機関の方々との連携やネットワークづくりに向けた取組み、及び、地域の方々とのさまざまな交流を通して、子どもたちの自立と社会参加をめざしています。

<支援相談チーム>

校内・校外のさまざまな相談の対応、福祉サービスに関する情報提供、関係機関との連携・ネットワークづくり等が主な業務です。

<地域連携チーム>

ボランティア、ゲストティーチャー、学校開放事業、交流デイの運営、銀河の会に関する事等、保護者や地域の方々との交流の推進やネットワークづくり等が主な業務です。

<進路支援チーム>

進路に関する相談、校内実習や現場実習に関する事、実習先の開拓やアフターフォロー等、進路先や関係機関との連携・ネットワークづくり等が主な業務です。

何かお困りのことなどありましたら、支援連携グループまでご相談ください。

(支援連携グループリーダー 三森吉徳)